

平成30年度

新作万燈 若衆頭一挙紹介

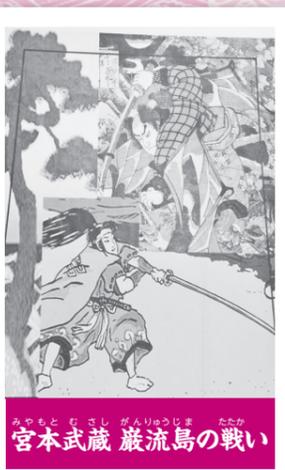
秋葉社の祭礼として始まり、240年の歴史を誇る「万燈祭」。県の無形民俗文化財にも指定され、7つの町、市内の企業や地区が参加し、毎年盛大に開催されています。
万燈は、日が沈むにつれ、色鮮やかに光を放ち、見る者を魅了します。そして、若衆が高さ約5m、重さ約60kgの万燈を1人で担ぎ、勇壮に舞う姿は圧巻です。
ぜひ、各町自慢の華麗な万燈と舞を見に来てください。

東陽町



海野 完展さん (27)

夏の夜、天下奇祭の笛太鼓
東に集まれ陽気な人たち



宮本武蔵 巖流島の戦い

今年の万燈は巖流島の戦いです。佐々木小次郎との一騎打ちのため、船の櫓から木剣を削り、飛びかかる様を表現しました。
例年とは違い、侍の決闘に挑戦し躍動感のある万燈を製作するため、世話人や世話人OBが試行錯誤を重ねた万燈を若衆が力強く担ぐ姿をぜひご覧ください。

寺横町



吉村 逸生さん (28)

平成最後の万燈祭、
寺横町が一丸となり
笑顔溢れる祭りを作ります



甲斐ノ虎、越後ノ龍

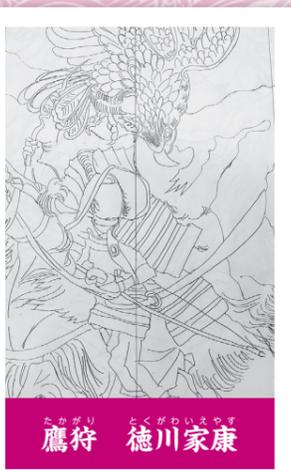
川中島の決闘では、謙信が単騎で武田本陣を奇襲、信玄が軍配で振り払う様子が有名ですが、あえて信玄が軍配を振り下ろし、謙信が刀で受け止めるという逆の構図に挑戦。
もう一つの見所は、両者の異名である「甲斐の虎」「越後の龍」を化身として蘇らせ、対峙させる事で、より迫力のある戦いに仕上げています。

広小路



宮田 奨一朗さん (32)

魅せる！広小路の元氣、
情熱、魂！



鷹狩 徳川家康

新作万燈は、茂みにひそむ獲物に向かい、鷹を放つ瞬間です。徳川家康は生涯で千回以上の鷹狩りを行い、鷹狩りをこよなく愛した武将でした。
鷹が獲物をめがけて羽ばたく雄大な姿を細部まで作り込み、色づかいにこだわって表現してみました。また、背景の松の木は本物と見間違えるほどのものができました。
遠くから見ても近くから見ても楽しめる作品となりました。

銀座



村瀬 晶さん (30)

魅せます
チーム銀座の祭り



立花道雪名刀千鳥・
雷切りの由来

立花道雪は戦国時代の武将。豊後の戦国大名・大友氏の家臣。
木陰で雨宿りしていた立花道雪を雷が襲った時、道雪は所持していた刀でその雷の中にいた雷神を切ったとされる。以来道雪の愛刀「千鳥」は「雷切り」と改名された。
題材イメージは刀（千鳥）を抜きざまに飛び退いた道雪に、雷神が襲いかかる構図。

広小路五組



古橋 一輝さん (24)

世界に響け 心をつなぐ
我らのわっしょい



宮本無三四
化山伏と戦ふ

戦国時代最強の剣豪である宮本武蔵（無三四）が越前國山中にて化山伏と戦う場面です。
60数回の決闘の全てに勝利した武蔵は大坂の陣に水野勝成の客将として参戦し活躍したことも知られています。
中央上部に位置する迫力満点の山伏に武蔵が勇ましく立ち向かう姿を表現します。力いっぱい作り上げた万燈と元氣いっぱいな盛り上がりを見せてください。

新栄町



近藤 光平さん (25)

継承してきた新栄の万燈舞で、
川中島の臨場感味わえます！



川中島の戦い

川中島の戦いは戦国大名・武田信玄と上杉謙信との間で、北信濃の支配権を巡って行われ、第五次合戦まで12年余りに及んだとされています。
信玄と謙信の一騎打ちとして有名なこの場面は、第四次合戦にて手薄となった信玄の本陣に、謙信が斬り込みをかけたと言われています。その名場面を迫力のある大万燈にしました。新栄町若衆が魂を込めて華麗に舞う姿をぜひご覧ください。

司町



濱田 博己さん (27)

一致団結！
万燈魅せます



素戔嗚尊
八岐大蛇の戦い

今年の題材は聖地・出雲の国に伝わる神話「ヤマタノオロチ退治」です。八つの頭と八つの尾を持つ伝説の大蛇ヤマタノオロチと、クシナダヒメを守りながら、勇敢に戦うスサノオノミコトの躍動する姿を万燈で鮮やかに表現しました。
司町若衆も、このスサノオノミコトの様に堂々と勇敢な舞を見せたいと思います。万燈祭当日をお楽しみください。